

研究概要

研究タイトル：職場および社会におけるインクルージョン—課題、戦略、異文化的視点からの考察

研究代表者：ALCANTARA Lailani L.

CIL 実施責任者、立命館アジア太平洋大学 国際経営学部・経営管理研究科 教授

本研究は、職場におけるインクルージョンの促進ならびにインクルーシブなビジネスおよび社会の実現に向けた戦略と課題を調査する。主な目的は二点あり、第一に、日本における職場でのインクルージョンおよびエクスクルージョンの実態を探すこと、第二に、特に社会的 SDGs との関連に着目しつつ、フィリピンにおけるインクルーシブな成長の推進および社会経済的格差の是正において、現地企業および多国籍企業が果たす役割や実践を検証することである。

第一の論文では、自発的に日本に在住している外国人のインクルージョンおよびエクスクルージョンの経験に関する継続中の研究を、管理職および経営層へのインタビューを通じて発展させる。これにより、職場のインクルージョンに関するリーダーシップの視点を明らかにするとともに、日本における国内出身のリーダーと外国人リーダーの間に見られる共通点および相違点について考察する。第二の論文では、マルチ・ステークホルダー・アプローチを採用し、発展途上国において企業がインクルーシブな社会の形成にどのように貢献しているのか、あるいは十分に貢献できていないのかについて調査する。これら二つの研究を通じて、インクルージョンおよびサステナビリティに関するマルチステークホルダーかつ異文化的な視座を提示する。研究成果は、企業レベルおよび社会レベルの双方において、インクルージョンを促進または阻害する要因を明らかにするものである。